

We Fukushima

福島勉強会 カウントダウン企画！

後編

11月12日(土)、コラッセ福島(福島市)多目的ホール(4F)を会場に、東北OM第9回勉強会in福島が開催されます。

開催までカウントダウン！という状況になって参りましたが、この勉強会を盛り上げるべく前回号続き、後編として福島の魅力をご紹介します。

会津 会津☆小旅行 ～会津の魅力を堪能する1泊2日の旅

レポーター 福島市役所 菅野 誠さん

さて、まずは会津地方のおすすめスポットを紹介させていただきます。

レポーターである菅野さんコーディネートによる1泊2日のバーチャル会津旅☆さあ、皆さんは今、磐越自動車道:会津若松ICに到着。天気は快晴！もうすでに会津旅は始まっています♪



1日目 観光

塔のへつり～100万年の歳月から つくりだされた景観～

「へつり」とは方言で険しい崖の意味で、その形状が塔のような形をしていることから「塔のへつり」と呼ばれています。

ここに見られる景観になるには100万年の歳月がかかるとされており、国指定天然記念物に指定されています。



癒し 湯野上温泉駅～日本で唯一の茅葺き屋根の駅舎～

湯野上温泉は、古くから商人宿があった歴史ある温泉場で、渓谷の雄大な眺めを誇ります。この歴史ある温泉場にあるのが、湯野上温泉駅。

ここは、日本で唯一茅葺き屋根の駅舎を有し、駅名標には「江戸風情と湯けむりの里」とあります。待合室には茅の虫除けのためにも必要な囲炉裏があり、有人時間帯には火が入れられており、訪れる人の心を温めてくれます。

これらの特徴から、2002年(平成14年)に東北の駅百選に選定され、2005年(平成17年)度には、日本鉄道賞・特別賞を授与されています。



癒し 大内宿～江戸時代の面影がここにある～

湯野上温泉で、足湯や日帰り温泉など、ゆったりとしたところで、続いては大内宿。

江戸時代のころ、宿場町であった大内宿は戦後になり、江戸時代の面影を残す貴重な文化財として脚光を浴び、国重要伝統的建造物群保存地区の指定を受け、今では多くの観光客で賑わっています。



癒し 東山温泉～多くの著名人に愛された湯の街～

さあて、あつという間に1日が過ぎてしまいました。そろそろ、今晚のお宿である東山温泉に向かいましょう！

会津若松駅から車で15分！山々に包まれた東山温泉があります。

新撰組の土方歳三、漫画家手塚治虫、その他にも文人・作家などたくさんの有名人も訪れ、竹久夢二や与謝野晶子などの墨客にもこよなく愛された湯の街でもあります。

それでは、今夜はゆっくりとおやすみください♪



2日目 観光

飯盛山～戊辰戦争・白虎隊の悲話が眠る名所めぐり～

おはようございます。旅の疲れもすっかり癒えたようですね。では、出発しましょう♪
では、車を進めながら、ちょっとだけ会津の歴史をお話させてください。

鳥羽・伏見の戦いに端を発した戊辰戦争では、京都守護職を勤めた会津藩は、薩摩・長州を中心とする討幕派の格好のターゲットとなります。

戦火は会津藩主松平容保の居城、鶴ヶ城を囲む戦いとなり多くの悲劇が生まれたといえます。その中でも、鶴ヶ城付近からの火災から、落城と誤認し城と共に殉じ、切腹して果てた白虎隊の悲劇の話は特に有名で、ドラマにもなっています。

16～17歳の若さで亡くなった少年たちの眠る飯盛山や彼らの学んだ会津藩校日新館、会津武家屋敷など、当時をしのぶことができる名所が数多く残っています。



観光 鶴ヶ城～何と言っても会津のシンボルはココでしょ！～

そのルーツは至徳元年(1384)まで遡り、長く輩名氏の居城でした。

その後、伊達政宗、上杉景勝と城主が変わり、江戸時代には会津23万石の中心となりました。

戊辰戦争では籠城の激しい攻防に耐えたものの、明治7年に取り壊されてしまいました。

その後、市民からの強い要望もあって、昭和40年、昔の姿そのままに復元され、さらに今年、幕末当時の赤瓦に葺き替えられ、新たに生まれ変わりました。



食 三都そば・喜多方ラーメン・

ソースかつ丼！～胃袋がいくつあっても足りないグルメのまち☆会津！

◆蕎麦

蕎麦どころとして知られている会津の中でも、標高が高く、昼夜の寒暖の差が大きな気候と、朝霧のたつ清流沿いの耕地に栽培されている“山都のそば”は特に美味しいといわれています。

また、「つゆ」ではなく「水」に付けて食べる食べ方は、蕎麦本来の風味を味わうことができ、より会津の蕎麦のおいしさを感じていただくことができます。

◆喜多方ラーメン：

喜多方ラーメンの特徴は太い麺で、時間をかけて熟成させているのでコシも強く、食べ応えもあります。また、スープはあっさりしており、麺に縮れがあるので口に入れたときにスープが程よく絡み、麺とスープとの絶妙なハーモニーが味わえます。是非、ご賞味ください！

◆ソースかつ丼：

会津の一押しB級グルメはコレ！

会津でカツ丼といえばソース味のカツ丼があたり前！会津の食堂のガンコ親父が苦勞しながらプライドを持って作っているの、一軒一軒がそれぞれ違った味とスタイルを持っています。是非とも食べ比べてみてください！



観光 訪れる人が絶えないビュースポット～昭和の森公園～



昭和45年5月19日に「第21回全国植樹祭」が当時の天皇、皇后両陛下をお迎えして開催され、アカマツの苗5万本が植樹された公園が昭和の森です。

眺望台から眺める天の鏡のような猪苗代湖は絶景で、訪れる人が絶えないビュースポットです。

観光 野口英世記念館 ～壮絶な親子愛を描いた名作「遠き落日」は必

◆野口英世

千円札でも知られる野口英世博士は1876年11月9日福島県耶麻郡翁島村(現在の猪苗代町)に生まれました。

現在、野口英世記念館には生家をはじめ、メリー夫人やロックフェラー医学研究所から送られた遺品が展示されています。

◆遠き落日

野口英世の生涯にスポットを当てた作品で、偉人としての野口英世ではなく「人間・野口英世」を描いた内容になっており、シカ・英世母子の壮絶な親子愛を描いています。



土産 太郎庵～会津のあたたかい心・自然・風土を味わう！～

太郎庵は、会津という地域に限定して展開をしており、会津にこだわった素材、季節を大切にしてお菓子づくりをしています。

ここのお菓子を口にすると、会津のあたたかい心、自然、歴史、風土のすばらしさが伝わってくるかのようです。その中でも個人的には会津チーズまんじゅうが大好きです♪



土産 起きあがり小法師・赤べこ



◆起きあがり小法師

倒れてもすぐ起きあがる起きあがり

小法師は、会津に古くから伝わる縁起物として知られており、その可愛らしい表情からも人気があります。

◆赤べこ

べこは会津弁で牛のこと。

赤は魔除けの意味をもち、疫病が流行った時代に厄除けの縁起物とされています。

会津1泊2日の小旅行、いかがだったでしょうか。

その他にもまだまだ観光スポットが随所にありますので、ぜひ、今度はあなたのオリジナルな観光コースをご紹介します♪



尾瀬国立公園



五色沼



磐梯山

会津 旅のメモ書き～いわきの魅力☆再発見～

レポーター 福島市役所 北郷 崇広さん

今回は私の故郷いわき市のちょっと気になるスポット・イベントを皆さんにご紹介していきたいと思います。みなさんがいわきを訪れるきっかけになればうれしいです。

アクアマリンふくしま

海の“なぜ？”を“なるほど！”に♪
限りない広さと生命を感じてみませんか？

小名浜港そばにある水族館。様々な海の生物の観賞はもちろん、ふくしまの海辺の環境を再現したビーチや淡水の水辺環境を再現したビオトープなどもあり、実際に水辺の生き物を間近で観察したり、触れたりすることができます。

またふつつ見ることの出来ない水族館の裏側が見られるバックヤードツアーというものもあるそうです。HP：<http://www.marine.fks.ed.jp/index.html>



スパリゾート ハワイアンズ 10月1日から再開しました！

笑顔が生まれる楽園、日本が育てたハワイがここにある！

ご存じフラガールのふるさとです。知らない方は映画『フラガール』ぜひご覧ください。

震災後、フラガールたちが全国各地を巡業し話題にもなりましたね。施設にはプールから温泉、ダンスのショーなど大人から子供まで楽しめるものが詰まっています。私も子供の頃よく行きました。ウォータースライダーは迫力満点です!! HP：<http://www.hawaiians.co.jp/>



いわきサンシャインマラソン

日本の復興をいわきから！

～駆け抜けよう！フラガールのふるさとを～

2月に開催されるいわきサンシャインマラソン。今回で3回目を迎えます。

前回は6000人を超えるランナーがいわきの街を駆け抜けました。フルマラソンから親子マラソンまで気軽に参加できる幅広い種目設定がされています。

観光がてら汗を流してみたいか、走り終わった後に温泉っていうのもいいですね。

早く申し込まないといっぱいになっちゃうかも…。

いわきは温泉、おいしいお魚、美しい紅葉の見られる渓谷などなど、たくさんの魅力が詰まった街です。ここでは紹介しきれないくらいいわきの魅力はまだまだあるはず。

みなさんもお気に入りのいわきの景色を見つけてください。私も少しずつ探していこうと思います。

Pray for Tohoku

“想い”を“行動”へ！

固い繋がりのための緩い繋がりを広げていける、
そんなコミュニティカフェでありたい！

ヤスヒロ

コミュニティカフェ志緒里(福島県相馬市) 作間 慰簡 さん

YOSAKOIチームの運営をきっかけに、まちづくり活動へ

福島県相馬市で「志緒里」という喫茶店を営んでいる作間慰簡(サクマヤスヒロ)です。
昨年の春まで約10年間、地元相馬市のYOSAKOIチームの運営に関わってきました。チームは先日、仙台市で開催された第14回みちのくYOSAKOIまつりにも参加し、注目もされていたようです。しかし、相馬市ではこの10年間で他のYOSAKOIチームの誕生は無く唯一のチームです。
YOSAKOIチームを始めた当初、これに追従して他にも相馬市内にチームが誕生し街を盛り上げたいとの希望もありましたが、叶いませんでした。そこで私は市民から湧き上がる何かを探すべく、YOSAKOIチームを離れ「まちづくり」の門をくぐりました。

相馬を何とかしたい…「そうま“福興”オフサイトミーティング」開催！ そこで蒔かれた種たちは芽を出し、今も成長し続けてる！

そんな中での今回の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所での事故が起こりました。
当初はとにかく、相馬市の現状を伝えようとTwitterでの発信を続けました。しだいにフォロワーも増え、そんな中から相馬に何かしたいというような情報も入ってくるようになりました。
そこで、志緒里ではTwitterで呼びかけ5月22日に「そうま“福興”オフサイトミーティング」を開催しました。その後、7月まで月1回のペースで3回を開催しました。参加者には東北以外の方々も参加がありました。

ミーティングの中で色々なことが提案、論議され、相馬の子供たちを夏休み中に富士山麓のキャンプ場へ招待するプロジェクトなどが実際に行われ、私も地元の受付窓口としてお手伝いさせていただきました。現在は「そうま“福興”オフサイトミーティング」と題して開催はしていませんが、そこで蒔かれた種たちが芽を出し、今も成長し続けています。
その一つ「松川浦の未来を語るゼミナール」では相馬の復興へのビジョンを市民の手で作ろうと月1回のペースで開催される講演会や市民会議・ワークショップの模様をネット配信する為のお手伝いをさせて頂いたりもしています。

市長のリーダーシップにより着実に進む復興への取組み

市の状況は、南相馬市や双葉郡からの避難者も受け入れている事もあり、一部では以前よりも活気がある部分も見受けられます。
また、市長がリーダーシップを発揮し、復興へのビジョンも早々に発表し、被災された高齢者の対策や雇用創出へ向けた海外の企業との連携なども積極的に行っています。
更に、市民からの声を反映させる事が出来れば、福島県浜通りの北部・相双地区の復興の基点として大きな役割を果たしていくことでしょう。

次世代へ相馬の希望を引き継ぐために… ～「TEAM ONE LOVE」の結成～

震災前から交流があり、相馬で今後楽しく過ごしていく為に何かしたいねと、意気投合した仲間(3人)と「TEAM ONE LOVE」を震災後に結成し、メンバーの得意分野を活かし、

◆原発事故後の対応と生活(放射能対策の情報発信、スロー＆ナチュラルライフの提案)

◆復興(イベントへの参加、協力、主催)

の一見相反するような事を共に進めていく事で、次世代へ希望を引き継ぎたいと活動を始めました。

現時点では、それぞれの不安や悩み、何かしたいという思いを少しでも多くの人達と共有しようと「集会」と銘打った気軽な茶話会の開催。放射能に関する講演会の開催やお手伝いをしております。

今後は「集会」での話題を汲み、踏み込んだ内容のワークショップなどの開催も検討しております。徐々に仲間も増えつつあり、興味ある分野ごとに別れ活動を広げていこうという動きもあります。

緩い繋がりを多くの方と構築し、情報を集約し、 発信者と受信者のハブで在りたい！

さて、私の本業でもある志緒里ですが、Facebookページやmixiページを立ち上げ「コミュニティカフェ志緒里」として展開しております。

TwitterやFacebookを通して、緩い繋がり的重要性を本当に体感しております。ネットなど無かった時代には地域の強く固い繋がりが少なく、そこを大事にしてきました。

この強い繋がりを否定するのではなく、ネットが発達した現在、リアルな強い繋がりを作る為のステップとして緩い繋がりを築こうと、それは国内だけではなく世界中に広がる情報の海へも繋がれる。そこで、先ず志緒里が緩い繋がりを多くの方と構築し情報を集約し、発信者と受信者のハブとなればとの思いが強くあります。

**強い繋がりのための緩い繋がりを広げていける、
そんなコミュニティカフェに！**

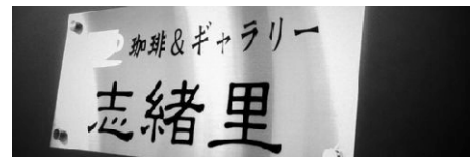
また、都市部との情報格差は正直大きいと感じます。そこで、TwitterやFacebookなどのSNSを上手に利用する事で、その格差が埋められるのではと思い、入門講座や勉強会の開催をしています。ただ、ネット環境がまだまだ浸透していない地域もあるので、情報掲示板を設置し、ポスターなど各団体の広報に利用いただいております。

名乗った者勝ちと自称の「コミュニティカフェ」ですが、本当の意味で少しでも近づけるように今後も、強い繋がりの為の緩い繋がりを志緒里で広げていければと営業をし、この東北OMにも参加させて頂き、アドバイスなどもいただければと思います。

コミュニティカフェ志緒里のFacebookページ…<http://www.facebook.com/CafeShiori>

「TEAM ONE LOVE」ブログ…<http://teamonelove.seesaa.net/>

Soma Relife 311(キャンプ招待プロジェクト母体)…<http://www.facebook.com/reliefsoma311>



第9回OM勉強会 in ふくしま Welcome Message

『本当の福島』を感じてください！

福島市役所 鈴木 潤 さん

11月12日(土)、福島で初めて「東北まちづくりオフサイトミーティング」の勉強会を開催することとなりました。

3月11日以降、福島は地震・津波・放射線・風評被害に苦しんでいます。今まで私たちが培ってきたもの・営んできたもの、大切なつながりが全て汚され、なくなってしまう、そんな気持ちに陥ることがありました。

山形ミニ勉強会でも少しお話させていただきましたが、地域の美味しいお酒や料理を紹介するとき、「これは大丈夫です。食べても大丈夫です。放射線量もきちんと計測しています」と言わなければならない切なさ。この切なさは本当につらいものです。これが実際に農産物を生産している農家の方々、ものづくりに携わっている方々の気持ちははかりしれません。

でも、でも、です！私が原発事故後強く感じたのは、「自分は福島人なんだ」ということです。こんな状況に陥ってしまった福島を、何とか元気にしていきたいのです。福島が大好きなんです。こんな時こそ、福島を盛り上げるために頑張りたいのです！

震災後、福島を復興しようという人々がチカラを尽くしてくださっています。「自分たちにできること」を考え、実行しています。11月12日はそんな方々のお話を聞いて、ありのままの福島を感じていただき、そして“一緒”にこれからの福島を考えていただければと思います。

もちろん、福島を楽しく感じていただけるようなイベントも満載です♪スタッフ一同、心からお待ちしております！！



№71 山田 昌史
Masafumi Yamada



◆所属：福島県伊達市役所(保原総合支所)

◆生まれ年：1974年11月

◆経歴

平成9年4月から約3年間、とある民間企業に勤務。平成12年4月保原町役場に採用。平成18年1月の5町合併により伊達市職員に。

◆異動歴：健康福祉課→建設課→水道部→保原総合支所

◆いま、好きなこと：講演を聴くこと、読書

◆最近、思っていること：今は過去の積み重ね、未来は今の積み重ね

◆OMIについて

震災前からOMの存在は知っていたものの、震災を通して、つながりの大切さを再認識し、入会させていただきました。

OM活動への参加は、先日の山形ミニ勉強会が初めてでしたが、ひとことで言うと、心がスッキリしたとも言いますか…『志は高く敷居は低く』のとおり、あふれんばかりの情熱を持っている方ばかりで、学びあいながらも、とても楽しめる素晴らしいものでした。

次回は、福島勉強会。ぜひ福島の“いま”を感じてください。常連の方も、そうでない方も…皆さまにお会いできることを楽しみにしています。